

# 未来への遺産

## 埼玉県

### 埼玉の古代・近世・現在から未来へ



埼玉古墳群（行田市）

**埼玉古墳群（行田市）**  
行田市大字埼玉には、五世紀終わりから七世紀初め頃までに造られた九基の大型古墳群があります。古墳の一つ、「稲荷山古墳」からは、百十五の文字が刻まれた「金錯銘鉄剣」や「まが玉」など多くの遺物が出土し、国宝に指定されています。



蔵造りの町並み（川越市）

**蔵造りの町並み（川越市）**  
江戸時代に城下町、舟運による物資の集散地として栄えた川越。江戸の風情を今に残し、「小江戸川越」と言われています。  
「蔵造りの町並み」は、明治二十六年の大火を契機に川越商人たちがその巧妙な耐火構造に着目し、競って蔵造り建築の店舗を建てたことで形成されました。この町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」「都市景観一〇〇選」に選定されています。

この地の地名「さいたま」は「さいたま」の語源とされ、「県名発祥の地」と言われています。  
埼玉古墳群は、埼玉県の、そして人類の貴重な未来への遺産です。



さいたま新都心（さいたま市）

**さいたま新都心（さいたま市）**  
さいたま新都心は、関東平野のほぼ中央に位置し、首都圏の核となる都市として平成十二年五月に街びらきを行いました。主に関東甲信越地方を所掌する行政機関が集中し、国の広域防災拠点にも位置付けられています。また、「さいたまスーパーアリーナ」、「ジョン・レノン・ミュージアム」、大型商業施設等民間の高層ビル群を有する埼玉の今を代表するスポットに成長しました。さいたま新都心は、たゆみない発展を続け、埼玉の明るい未来を表現し続けます。

お問い合わせ

TEL 埼玉県民生活部広聴広報課  
〇四八―八三〇―二八六四